

'89
NEW YEAR



ふるさと

吉田 稔筆

No. 19

昭和64年1月

●編集・発行

柏市増尾近隣センター運営委員会・広報部

増尾近隣センター

〒277 柏市増尾1614番地 (74) 7211

あなたにできるキレイな手賀沼をの標語募集で
市長賞は鈴木昇さんへ
おめでとう!
加賀町会



入賞者と入賞9作(標語)

市長賞
鈴木昇さん | 澄んだ水きれいな手賀沼子に孫に

会長賞
古賀周平さん | 手賀沼の水が育てるふるさと柏

会長賞
小宮山しづくさん | よごすまいわがふるさとの手賀沼を

会長賞
鈴木昇さん | まごころが映るきれいな手賀沼に

環境部長賞
西谷千枝子さん | きれいな水を流す工夫をもう一度

環境部長賞
吉田雅さん | 適量の石けん使って手賀沼浄化

環境部長賞
河野ふみ子さん | わが家から流した水はもどる水

環境部長賞
天野洋子さん | ろ紙袋みんなが使えば手賀沼浄化

環境部長賞
後藤たか子さん | ろ紙袋毎日使って手賀沼浄化



標語応募で入賞された8人(前列)の方々
(11月3日)於、近隣センター裏バザール会場

先頃、環境庁がまとめた昭和62年度の全国の河川、湖沼、海の水質汚染度調査報告によりますと、相変わらず手賀沼は、14年間もずっとワーストワンというありがたくない記録を行進しつづけています。

昨年4月、増尾近隣センターに環境部を開設(部長には足立実氏)。これを契機に手賀沼浄化対策運動の旗揚げに去年7月、「手賀沼写真展」を……、そして広報「ふるさと18号」では、浄化促進の心をひとつにするスローガンを得るために標語を募集しました。題して「あなたにもできるキレイな手賀沼を」……。

応募総数62点、市の環境課スタッフ及び全運営委員による厳正審査の結果、左記の9点が選ばれました。

市長賞に輝いた鈴木昇さんのプロフィール ●当地域に在住14年。2人の娘さんはもう嫁いで、いまは夫唱夫随がピッタリの仲睦まじい2人住い。鈴木昇さんの人物像を奥さんにうかがったら「几帳面さでは天下一でしょう」って。日記歴は30年、雪隠和尚ではないが掃除をさせたらプロ中のプロだと。家中は主婦2人といった配分で、どこを探ってもホコリらしきものは、なさそうな実に清楚な趣きである。まさに市長賞(標語)の生れる環境が、そして心情(几帳面さ)の中に、すでに醸されていることが、うかがい知れます。加えて澄んだ水を子や孫に、という未来へおくる愛情——手賀沼浄化をすすめる最も大切なコアなのです。

現在、公職は退かれていますが、総理府の国勢モニターをつとめられる傍、新聞などに随想、時評などを寄稿されるなど、はば広く活躍されています。

●なお、市長賞及び各賞に入選された8人の方は、去る11月3日(文化の日)の「ふれあいの集い」の式典で表彰状と賞品が授与されました。



三日で取り換える③米のとぎ汁など
は花壇や庭に④塩分の多いラーメン
みそ汁の残りは空地に捨てる⑤排水
マスを清掃する⑥食器の油は紙で拭
きとる⑦廃食用油は資源ゴミとして
回収、粉石けんに変える⑧くず取り
ネットも使うという内容。主婦の工
夫と心遣いで手賀沼に流れこむ有機
物の量を減らし、沼の富栄養化と汚
染を食い止めようという狙い。

「6つの提案」は市への提言で、
主な内容は●三角コーナー普及へ住

宅建築の際、設置を義務づ
ける●合併浄化槽普及への
補助対策を設けるなどが有

効な提言と評価されたものです。

手賀沼の汚染の80%近くが、私たちの生活雑排水と言われています。羽柴さんは、そのことに心を痛め、もう7年前から地道に「8つの対策」を自らすんで勧行されている。生活する中で切実感にせまられた自らの工夫と実行——これは雑排水美人の中の美人といっても過言ではありません!

雑排水美人に、羽柴さん!

市が募集していた「雑排水美人コンテスト」で、増尾台の羽柴雅代さんが選ばれ、去る11月19日藤心近隣センターで開かれた第4回手賀沼シンポジウムの席上で初代雑排水美人に市長賞が授与され、同時に羽柴さん提案——8つの対策と6つの提案がなされた。

対策①台所の流しの三角コーナーに水切りゴミ袋を
使う②流しの排水口にパンストを切り結びかぶせ二、

ふるさとに賑う「和と環」!

敬老会

9/25(日)



▲土中のプラスバンド
演奏スタンバイに
おあわて

ふるさと運動の▶
提唱された鈴木市長は毎年熱心に観覧

みんなで唱えば楽しい

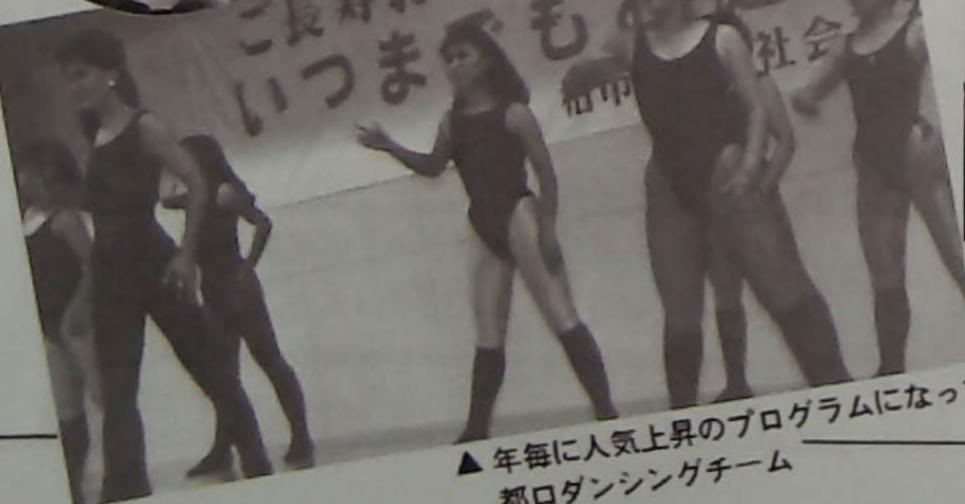
増尾台カラオケ同好会の面々▼



息の合ったみごとな舞い▼



体調を気づかい血糖を計る保健婦さんたち▼



▲年々人気上昇のプログラムになった
都ロダンシングチーム

体育祭 10/17(月)

各競技の優勝・入賞者一覧

【バレーボール部】

優勝—土小チーム
準優勝—酒井根クラブ
三位—センターチーム
四位—酒井根東

【卓球部】

A ブロック
優勝—大竹しん子・吉野明美組
準優勝—竹内優子・山口恵子組
三位—脇田ひろ子・山口まゆみ組
四位—川城恵子・丸山由美子組

B ブロック
優勝—石沢公世・高尾志信組
準優勝—高野恵美子・石井久美子組
三位—奥野節子・武内洋子組
四位—川田和代・加藤幸子組

C ブロック
優勝—太田礼子・引地智美組
準優勝—一本橋紀子・菊地恵美子組
三位—椎野八重子・伊藤昭子組
四位—下川千代子・田中幸子組

D ブロック
優勝—中岡郁子・巣 和子組
準優勝—吉原久江・森井美和組
三位—早戸三重子・木之下由美子組
四位—赤津かね子・遠藤良子組

【バドミントン部】

優勝—Dチーム
新井トミ江・青島フクヨ
鈴木秀子・森作紀子
草野早苗・酒井始子
大沢テル子

準優勝—Cチーム
高橋和江・青木千恵子
鹿志村由紀子・秋田よし子
左藤けい子・岡村美智代

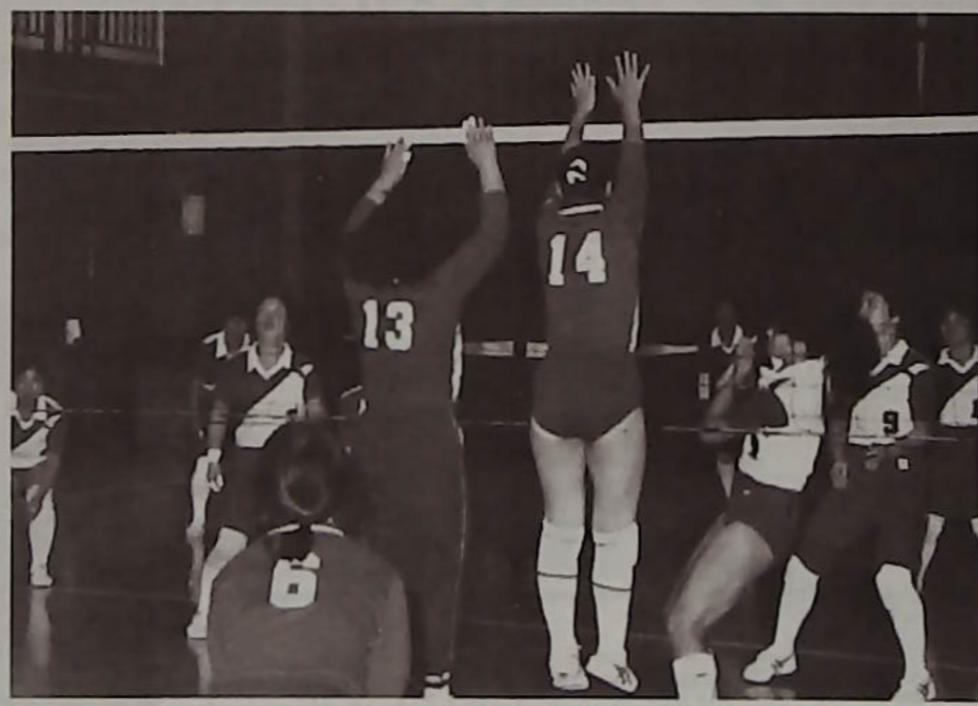
三位—Aチーム
金子玲子・川村朝子
佐野加津子・渡辺道子
大友さち子・元山純子

四位—Fチーム
川野晴子・小島京子
菅原結子・浅原美喜子
井手口成智子・磯崎富美子
菅野節子

【美容体操部】

市長杯

小野好子
ビューティー賞
関山千代子
エレガント賞
竹本啓子



エキサイティングなプレイが身上のママさんバレーは、とてもパワフル! ▲



体育祭の華! みごとな肢体、▲
若さいっぱいの美体チーム



卓球の各ブロック部門の
優勝チーム

バドミントン優勝チーム ▲

ゲートボール大会

1



去年から市長杯が設けられ今年も熱のこも

第8回ゲートボール大会

優勝—
準優勝—
三位—

五大行事を写真で追う!

文化祭 11/2(水)~3(木)

ふれあいの集い 11/3(木)

△小学児童の絵画、書道作品展

木
文
字

中学生徒の書道作品

△茶道部門のボランティアを引きうけてくださった人々

△手芸クラフトの傑作ぞろい／プロと遜色のない作品群

10(月)

墨絵画サークルの部長山崎さん
自作の前で

▼子どもに自慢できる作品があるのは素晴らしい！



たゲームを展開！ ▲

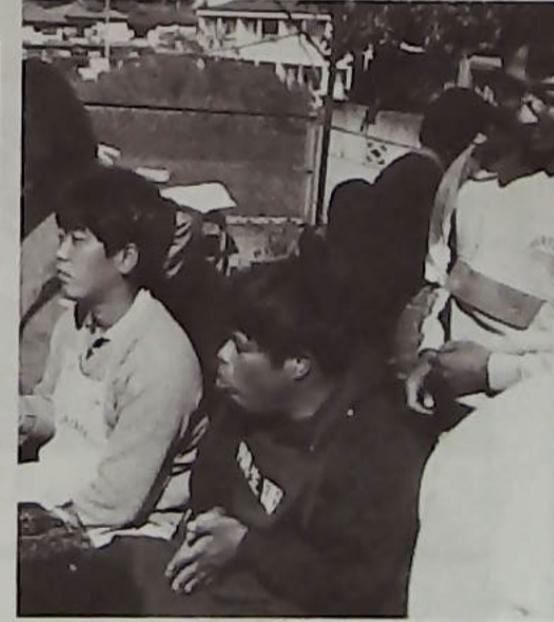
専業Aチーム

ヶ丘Bチーム

谷Aチーム・緑寿会Bチーム

センター体育館裏
バザール特設会場は好評の
各模擬店は、ゴッタ返しの賑い！ ▲

餅つきコーナーはいつも人の黒山
われも我も腕っこき披露でござ～い！



近くの施設からもバザールに参加 ▲

朋生園生による手づくり野菜と
鉢植え販売コーナー

増尾近隣センター環境部が
募集した「あなたにもできるキレイな手賀沼を」
の標語で市長賞に輝いた鈴木昇さん、11/3
(木) ふれあいの集い式典で… ▶



火災シーズンにさきがけて 11/22増尾町防火防災訓練!

訓練開始のあいさつをする増尾町会長足立実氏▶



増尾町会役員と防火委員の担当で、子ども会も合わせた防火防災訓練が、元増尾西小グランド跡地で行われた。当日は祝日とあって出足は、いま一步であったがそれでも子ども連れのご婦人連あわせて50人ちかくの参加で賑わった。

最近の火災傾向は、室外では1位、放火（不信火）
2位、たき火の順で、室内では圧倒的に台所での天ぷら鍋の放置加熱——料理中に電話が入ったり、うっかり長話したり、セールスマンの勧誘の断りに戸惑ったりでコンロの火をつけ放し、といったケースが増えています。うっかりが大敵！ご用心を——。



▲消火器を使って消火指導する増尾分署団員

●まず、その天ぷら鍋の燃焼を想定して、消火器を使った火の消し方から始まった。実際と本場では気持のありようが違いますが、とにかく落着いて鍋の中の油面をめがけて消火剤を集中噴射するのがコツ。

ここで注意しなければならないこと、メーカーごとに消火器の構造も噴射操作もがりますから、万一の時に備えて我家の消火器を実践訓練で一度お試しを——。



●次に消火器を使わない方法——まず水を湿らせた毛布かコタツ掛け、頭の上部に掲げ（下写真、火を顔面に受けないため）手前から前方へ押しやるように被せる。この消火方法は、燃焼している鍋の油面の空気をシャットアウトして消すわけですが、炎が消えたと思って油面温度が下らない内に、毛布を剥ぎとると再燃焼します。百聞は一行に如かず、一度実践訓練でお試しになって下さい。

●なお、防火防災訓練の申し込みは各町会長へご相談を。

火が出た！ その時、なすこと。

早く知らせる

大声で叫んだり、ナベやヤカンなどをガンガン叩いて、近所の人たちにも援助を求めましょう。119番に通報することも忘れずに。

早く消す

初期消火は誰でもできます。炎にまどわされずに、冷静に消火器や三角バケツを使いましょう。

参加者募る！

1989 ●新春の行事日程●

行事名	日時	会場	対象	参加費	申込み
新春囲碁・将棋大会	1月22日(日) AM9:00より	増尾近隣センター (和室)	当近隣センター区域に在住の方 (50名)	300円 費用をそえて直接センターへ (AM10:00~PM3:00)	1月11日(水)~13日(金)
新春卓球大会	1月29日(日) AM9:00より	増尾近隣センター (体育館)	当近隣センター区域内及び付近在住の方で小学4年生以上の方	一般 300円 少年 100円 費用をそえて直接センターへ (AM10:00~PM3:00)	1月18日(水)~20日(金)
腰痛予防体操	2月7日(火) 10:00~11:30	増尾近隣センター (和室)	一般市民(40名) (体操のできる服装)	無料 直接か電話でセンターへ (AM9:00~)	1月23日(月)

老人芸能発表大会は3月の下旬、開催予定です。

手賀沼写真展のアンケート 集計結果を報告します。

去年7月、当センターで手賀沼写真展を開設、合わせて観覧された方々を対象にアンケートに協力してもらいました。その集計結果を報告します。

回収数	335通						() 内数字%
男女比	女 (78.2)			男 (11.9)			
年令比	30代以下 (11.0)	30代 (14.9)	40代 (25.1)	50代 (9.6)	60代 (9.6)	不詳 (8.0)	

設問は10項目にわたって行いましたが、主な解答内容のポイントを抽出しますと、

ポイント①…手賀沼浄化への関心度 (94.3)

ポイント②…日本一汚い沼と正解した人 (91.9)

ポイント③…手賀沼は生活排水で汚れている (95.8)

ポイント④…増尾地域の生活排水は、大津川→手賀沼へ流れこんでいる (37.3)

ポイント⑤…生活排水の処理は、公供下水道 (30.2)
合併集中浄化槽 (20.6)、直接U字溝へ (20.6)

ポイント⑥…洗濯の洗剤は？合成洗剤 (50.1)

粉石けん (35.8) その他 (14.1)

などとなっている。

●ポイント①～③の解答は、市の広報活動やマスコミの報道などが重なって高周知率(90%強)となっている。

●ところが、ポイント④になると、何処の地区的生活排水が手賀沼へ流入しているのかという設問には、

37.3%と半減以下の数値になっている。汚濁の現状は、対岸の火事という認識にとどまっている。

●さらにポイント⑥では、各世帯からの排水が、公共下水道で処理されていると考えている人が、30.2%を占めているのも現実性に乏しい認識度となっている。

●ポイント⑥の洗剤については、対面形式のアンケート法でなかったこともあって、合成洗剤も粉石けんも同じように顆粒状になっているため、混同が加わった解答結果となっている。対面方式になれば、合成洗剤の使用比率がもっと高くみこまれるはずです。

★

以上の集計結果を踏え、沼や河川の汚染が私たちの棲んでいる生態系にナニをもたらし、先々人間にどのようなシッペ返して戻ってくるのか、興味の域を超えた、しかもパワフルな水質浄化対策PRと啓蒙活動をキメ細かくすすめていく必要を感じます。

●●●